

[主訴]

全身の倦怠感

[随伴症状]

食欲あり、腹痛あり、便秘気味、下痢ですっきりする。食後胃もたれあり、手と足に力が入りにくい感じがする、手足の冷えなし、眼精疲労なし、筋痙攣なし、夜間頻尿なし、睡眠異常なし、爪異常なし、舌はやや赤色、イライラなし、腰痛なし、頭痛なし、口内炎できやすい

[経過]

2年前から身体のだるさを強く感じるようになった。原因は不明。病院での精密検査も受けたが特に異常なし。睡眠はとれているので寝不足ではない。仕事もそれほどハードではないが、倦怠感が強いせいで業務に支障がでている。特に食後に倦怠感とともに眠気も強くなる。種々の治療を試してみたがあまり改善がみられず、友人の紹介で来院。

天気が悪くなると体調も悪化し、倦怠感が強くなる。倦怠感とともに吐き気が生じることもある。

[切診]

足三里反応あり、陽明経の反応が目立つ。いずれも喜按。

[腹診]

臍部の動悸はなし。臍下不仁なし。中脘やや抵抗あり。胃経の張りはあまりみられない。臍部はやや圧痛あり。

[脈診]

脈やや太く力がある。
五臓の脈差不明。

[証の決定]

脾虚胃虚熱証

[治療]

大陵、太白の補法。
後溪の瀉法。

[備考]

倦怠感や手足のだるさが主訴の場合、まず虚熱を考える。食後に胃もたれがあることから胃虚の可能性あり。胃もたれしやすいが食欲はあるので胃の虚熱と考えられる。

眼精疲労、筋痙攣、爪の異常、イライラなどがないため肝虚を外す。

腰痛、夜間頻尿、臍下不仁がないので腎虚を外す。

腹診からも脾虚の可能性が高いため総合的に脾虚で胃の虚熱とした。

腹証や熱の状態などから胃実熱は外した。

治療開始1カ月は週2回の通院。1か月の治療で2年間続いていた倦怠感が半減。

2か月目から週1~2の頻度で治療。

約4か月の治療で倦怠感が10から2に改善。

現在も悪天候で少々倦怠感がでてくるが以前より大分楽とのこと。

既に生活に支障がない程度まで改善されているが、更に体調がよくなることを期待して週1回程度で通院継続中。